

第3章 本市の景観資源・特性の整理

1)本市の景観資源

本市の景観を構成する多様な資源を把握するため、既存の各種文献、資料、現地調査などを踏まえて、景観資源を以下に示す4分類の観点で捉え、整理した。

■本市の景観を構成する資源

(1)自然の景観資源

山地（山、特徴のある植物群落、樹園地）、
水辺地（河川・水路・河川沿いの桜並木、湧水*地）、
海岸（自然海岸、松林）、農地（水田）、富士山・伊豆半島・高草山等の眺望 など

(2)歴史文化の景観資源

指定文化財（建造物、史跡、天然記念物）、その他の史跡等、
特徴的な集落*（重要伝統的建造物群保存地区*、大井川地域の舟形屋敷*の名残）、
社寺、巨木・古木（指定保存樹木）、趣のある道 など

(3)人々の活動が創る景観資源

観光交流（山地、ハイキングコース、海水浴場、桜の名所、広場、観光交流施設、
重要伝統的建造物群保存地区*、社寺）、
祭事・イベント（神社・寺院等の祭礼、イベント）、
働く人々（漁業・水産加工業等、農業等）、
市民活動（NPO 法人、自治会・町内会等による活動等） など

(4)市街地等の景観資源

市の拠点、住宅地、商業地、流通業務地、工業地、道路、鉄道、橋梁、公園・緑地、公共施設、
防災施設、市街地等の眺望 など

(1) 自然の景観資源

(ア) 山地（森林・斜面緑地）の景観

- ・市域北部に標高 501mの高草山を山頂とする山地が連なり、満観峰 470m、花沢山 450m、虚空蔵山 126mの標高の山がある。高草山を中心とする山地は、平坦地に広がる市街地の背景かつ本市のランドマーク*として市民に親しまれている。
- ・これらの山地は、貴重な動植物の生息地域であり、キツネやタヌキ、ニホンリス、ムササビなどが確認され、「高草山のキスミレとヤマタバコ群落」が特定植物群落（学術上重要な群落や保護を要する群落など）に選定されている。
- ・高草山の斜面部では、昔からみかんやお茶の栽培が盛んに行われ、特に笛吹段公園周辺には、有機的な自然地形に沿った茶畑が緑の絨毯のように広がっている。



写真 3-1. 高草山のキスミレ



写真 3-2. 高草山の茶畑

(イ) 水辺地（河川・水路・湧水*地）の景観

- ・本市は、一級河川の大井川をはじめとして、二級河川の瀬戸川や栃山川など、多くの中小河川が市域全域に流れていることが特徴である。また、大井川地域の農地が広がる一帯には農業用水路が張り巡らされ、湧水*地も多数存在している。
- ・大井川は、複数の流路と広大な河原を形成し、雄大な自然景観を呈している。河川敷には大井川河川敷運動公園があり、週末等に多くの人々がスポーツを楽しんでいる。
- ・瀬戸川は、市街地中心部を流れており、市街地内の潤い景観の骨格的役割を担っている。堤防や河川敷のオープンスペースでは、ウォーキングや釣りを楽しむ人が見られる。
- ・木屋川や黒石川などの住宅地を流れる河川は、地域住民の暮らしに潤いを与えるとともに、河川沿いでは桜並木を眺めることができる。
- ・山間部の谷地に流れる花沢川は、日本坂峠に続く旧街道沿いに流れ、周辺の伝統的な建造物や自然景観と一体となって、風情ある景観を形成している。



写真 3-3. 大井川



写真 3-4. 瀬戸川の河川敷



写真 3-5. 黒石川

- ・朝比奈川や栃山川などの河川は、田園の中をゆったりと流れ、おおらかな広がりのある風景を呈している。また、栃山川には旧河川敷を利用した栃山川自然生態観察公園等があり、動植物が生息する豊かな自然環境が残されている。
- ・大井川地域には、古くから多くの湧水※地があり、現在においても貴重な生活用水、防火用水として活用されている。



写真 3-6. 栃山川

(ウ) 海岸の景観

- ・本市の海岸は、静岡市との境にある大崩海岸をはじめ、浜当目海岸、石津浜海岸、和田浜海岸、大井川下小杉海岸などがある。
- ・大崩海岸は海底火山の噴火でできた溶岩が波で削られ断崖となり、自然の荒々しい景観が見られる。
- ・浜当目から大井川港までの海岸は、砂と砂利の海岸であるが、消波ブロックが設置されている。また、近年、海岸侵食が進行している。
- ・浜当目海岸は市内唯一の海水浴場で、夏季に多くの海水浴客が利用している。
- ・石津浜海岸や和田浜海岸は、一部が緑地広場として整備されており、駿河湾を前面に富士山や伊豆半島を眺望することができる。
- ・石津浜から大井川港までの海岸沿いに続くクロマツ林は、防潮林として重要な機能を果たすとともに、遠景でも眺めることができる本市の貴重な緑地帯である。



写真 3-7. 湧水※地



写真 3-8. 浜当目海岸

(エ) 農地の景観

- ・市街化調整区域では、農地の中に、住宅や工場などの多様な形態の建物が立地している。
- ・大井川の近くでは、広がりのある水田と屋敷林※・社寺林※が一体となり、かつての特徴的な散居村※の面影が残されている。
- ・大井川地域を中心に、かつての養鰻池※が放置され、雑草が繁茂し、荒れた状態になっている。なお、大井川沿いの養鰻池※跡地においては、太陽光発電施設用地として活用されている所が多く見られる。



写真 3-9. 海岸の松林

また、幹線道路や工場周辺などに耕作放棄地がある。

(オ) 眺望の景観

- ・本市は、優れた富士山の眺望景観を多く有しており、海岸部からは駿河湾越しの富士山や伊豆半島が眺められるのが特徴である。その他、満観峰山頂からは、静岡市街地と富士山を眺めることができる。
- ・市内のどこからでも高草山を眺めることができ、高草山は焼津市民の故郷の山といえる。



写真 3-10. 田尻浜海岸から見た富士山

■主な資源

山地	山	高草山、満観峰、花沢山、虚空蔵山
	特定植物群落※ ¹	高草山のキスミレとヤマタバコ群落
	農地（樹園地）	高草山の樹園地（茶畑・ミカン）
水辺地	河川	大井川、高草川、石脇川、朝比奈川、梅田川、瀬戸川、小石川、黒石川、木屋川、栃山川、成案寺川、志太田中川、泉川、花沢川、栄田川、泓の川、前の川、六間川、藤守川 等
	河川沿いの桜並木※ ²	朝比奈川堤山の手さくら、東益津石脇川沿い、大覚寺六間川沿い、大住黒石川沿い、すみれ台木屋川沿い、中新田木屋川沿い、栃山川沿い、栃山川堤富士見さくら、泉川沿い、小石川沿い
	湧水※ ³ 地	成道寺地蔵の泉、吉永コミュニティパーク、下江留の湧水※、大井川港緑地公園 等
海岸	自然海岸	大崩海岸、浜当目海岸、石津浜海岸、和田浜海岸、大井川下小杉海岸
	松林	石津浜海岸、和田浜海岸、大井川下小杉海岸
農地	東益津・大井川地域の水田 等	
富士山の眺望地点※ ³	満観峰山頂、浜当目海岸、うみえ〜る焼津（2階デッキ）、親水広場「ふいしゅーな」、焼津漁港（小川地区）、石津海岸公園、ディスカバリーパーク焼津前海岸、藤守バイパス付近、大井川河川敷陸上競技場駐車場、太平橋付近（大井川堤防）、大井川河口野鳥園堤防、大井川河口野鳥園展望台 等	

※¹【資料：第3回自然環境保全基礎調査（環境省）】

※²【資料：焼津市観光協会 HP 焼津桜マップ 桜の名所】

※³【資料：焼津市 HP 観光課】



(1) 自然の景観資源

	▲ 山
山地	★ 特定植物群落
	〰 農地(樹園地)
水辺地	— 河川
	●●● 河川沿いの桜並木
	● 湧水地
海岸	— 自然海岸
	●●● 松林
農地	〰 (水田など)
富士山の眺望地点	ㄥ



図 3-1. 自然の景観資源

(2) 歴史文化の景観資源

(ア) 指定文化財

- ・本市の指定文化財は、建造物が12件、史跡が7件、天然記念物が3件あり、これらの文化財は、歴史的景観を形成している。

(イ) その他の史跡等

- ・本市には、花沢城跡や石脇城跡などの歴史ある城跡が残されているほか、小泉八雲記念碑、旗掛石、波除地蔵など、地域の歴史を物語る石造物も点在している。

(ウ) 特徴的な集落*の景観

- ・山間部の谷地にある花沢の里は、長屋門の民家や石垣、寺院等が周辺の自然景観と一体をなして特徴的な歴史的景観を形成している。平成26年に重要伝統的建造物群保存地区*に指定され、市内外から観光客が訪れている。
- ・大井川地域の田園集落*は、古くから散居村*が形成され、大井川の水害から家を守るため、水が流れてくる方向に舟の形の土手を作り、周囲に木々を植えた舟形屋敷*とよばれる特徴的な敷地形態を持つ住居が、伝統的な集落*地景観を形成していた。現在、舟形屋敷*はほとんど見られないものの、敷地北側に屋敷林*を据える住居がいくつか見られる。また、土地利用の混在により、かつての散居村*の構造は失われている。

(エ) 社寺の景観

- ・本市には、焼津神社や水天宮をはじめ歴史的に由緒ある社寺が多くあり、古くからある社寺林*は地域に根付いた歴史ある緑である。
- ・法華寺や林叟院などの山間部にある寺院は、豊かな自然環境と調和して歴史的風致を醸し出しており、ハイキングコースに接し、観光客なども訪れている。



写真 3-11. 徳川家康公床机据え跡



写真 3-12. 花沢の里



写真 3-13. 散居村*の面影



写真 3-14. 焼津神社



写真 3-15. 林叟院

(オ) 巨木・古木の景観

- ・市の保存樹として 24 箇所指定されている。歴史を感じさせる風格ある姿は、地域のシンボルとして親しまれ、地域の歴史を印象づけている。

(カ) 趣のある道

- ・花沢の里の旧街道は、奈良時代の東海道と伝わり、街道沿いに連なる石垣と建物群が周囲の山林、川などの自然環境と風情あるまち並みを形成している。
- ・「松の小径」は、先人たちが苦勞して育ててきた松並木を貴重な遺産として保全し継承するために整備され、地域住民の散歩や小学生の通学に利用されるなど、地域の憩いの場となっている。
- ・「浜通り」は、漁業の町として栄えた本市の産業の源であるとともに、明治時代の文豪、小泉八雲のゆかりの地として「八雲通り」とも呼ばれている。沿岸部特有の伝統的家屋や小路※、信仰の場所などが今も残されており、港まちの風情を感じることができる。



写真 3-16. 花沢の里の旧街道



写真 3-17. 松の小径



写真 3-18. 浜通り

■主な資源

文化財	建造物	市指定：林叟院の経蔵、法華寺の仁王門、林叟院の鐘楼、 永豊寺の山門、香集寺の石燈籠、那閉神社の常夜灯、 林叟院の宝篋印塔、成道寺の宝篋印塔、 若宮八幡宮の石橋 等
	史跡	市指定：旧相良街道跡、円永坊跡、福翁山大満寺跡、百ヶ間地田跡、 静浜村外二ヶ村組合立静浜高等学校校跡、 徳川家康公床机据え跡、井伊直孝産湯の井戸
	天然記念物	市指定：猪之谷神社のナギの木、臥竜のマツ、旭伝院のマツ
その他の史跡等 (文化財以外)	小泉八雲記念碑、旗掛石、花沢城跡、石脇城跡、機織地蔵尊、波除地蔵、 イボ取り地蔵 等	
特徴的な集落※	重要伝統的 建造物群 保存地区※	焼津市花沢伝統的建造物群保存地区
	散居村※	大井川地域の舟形屋敷※の名残
社寺	法華寺、林叟禅院、宝積寺、香集寺、那閉神社、浦神社、焼津神社、 水天宮、栄田神社、則心寺、大井八幡宮、盤石寺、飯淵長徳寺 等	
巨木・古木等 (指定保存樹木)	丸石神社のクロマツ、大井神社のクロマツ、須賀神社のクロマツ、 小川小学校のクロマツ、焼津神社のクロマツ・くす他、 大井神社のくす・しらかし、八王子神社のやまもも、林叟院の杉他、 八坂神社のしいのき他、坂本神社のほるとの木 等	
趣のある道	花沢の里の旧街道、松の小径、浜通り	



(2) 歴史文化の景観資源

指定文化財	● 建造物
	● 史跡
	● 天然記念物
その他の史跡等 (文化財以外)	▲
特徴的な集落	重要伝統的 建造物群 保存地区
	舟形屋敷の 名残
社寺	▲ 主な社寺
巨木・古木等 (指定保存樹木)	▲ 主な巨木・ 古木等
趣きのある道	—



図 3-2. 歴史文化の景観資源

(3) 人々の活動が創る景観資源

(ア) 観光交流の景観

- ・豊かな自然環境を活かした高草山のハイキングコースや浜当目海水浴場、木屋川の桜などでは、人々が自然に触れあいながら楽しんでいる姿を目にすることができる。
- ・伝統的建造物の景観を生かした花沢の里では、古くから続く農山村地域の歴史文化に触れあいながら人々が散策を楽しんでいる。
- ・本市の主要観光施設である焼津さかなセンターは、焼津漁港に水揚げされた海産物や水産加工品が並び、多くの市民や観光客が訪れ、活気ある景観が見られる。
- ・焼津漁港内には、深層水ミュージアムやアクアスやいづ、ふいしゅーな等、海に関連した施設が立地し、市民の憩いの場、観光交流の場として、にぎわっている。
- ・焼津漁港や大井川港周辺では、直売所や食堂に海産物を買って求める人々の姿が見られるほか、釣りや散策に訪れる人も見られる。
- ・その他、ディスカバリーパーク焼津天文科学館、焼津小泉八雲記念館、サッポロビール静岡工場・ビオトープ園などの施設や焼津神社や林叟院等の社寺など、地域資源を生かして楽しみ触れあえる景観が見られる。

(イ) 祭事・イベントの景観

- ・本市は、焼津神社の荒祭りや藤守の田遊びなどの伝統的な祭りのほか、焼津みなとまつり、焼津みなとマラソン、踊夏祭^{おどらっかさい}などの季節や地域資源を活かした多くの祭事・イベント等が開催されており、文化的な景観やにぎわい・交流する景観が見られる。
- ・市内各地の寺社で催される祭事には、地域内外から人々が訪れ、にぎわっている。
- ・夏には、魚河岸シャツ^{*}を着る人々が多く見られ、焼津ならではの風物詩として焼津らしい雰囲気醸し出している。



写真 3-19. 浜当目海水浴場



写真 3-20. さかなセンター



写真 3-21. ふいしゅーな



写真 3-22. 焼津神社の荒祭り



写真 3-23. 踊夏祭 (おどらっかさい)

(ウ) 人々が働く景観

- ・焼津漁港や大井川港では、水産物の水揚げや競り※など、港で働く人々の活気ある姿を見ることができる。特に焼津漁港については、漁船が行き交う様子やドック※で働く人々の姿なども含め、漁業の町を象徴する景観となっている。
- ・漁港周辺の事業所や水産流通加工団地などでは、水産加工業に従事する人々の姿を見ることができる。
- ・高草山周辺や大井川地域などの農地では、田植えや稲刈り、茶やミカンの収穫など、農作業をする人々の様子を見ることができ、季節を感じさせる。

(エ) 市民活動の景観

- ・本市には、海や水産に関連する活動、緑化活動・花の植栽活動、桜並木などの保全活動、伝統的な建築物等の保存活動、歴史文化を生かした地域活性化などに関連する NPO 法人や市民団体があり、特に NPO 法人「浜の会」による浜通りでの活動は、本市の漁師町文化※の景観の保全、向上に寄与している。
- ・本市では、アダプト制度※などを活用し、自治会・町内会等による海岸や河川、道路などの清掃活動や美化活動が行われている。
- ・本市の幼稚園・保育園や学校、PTA、あるいは事業者などが、環境美化に関する啓発活動や地域の清掃活動に取り組むなど、市民・事業者の協働による景観向上への取組が進められている。



写真 3-24. 大漁旗を掲げる漁船



写真 3-25. 浜通りの夏のあかり展



写真 3-26. 海岸清掃の様子

■主な資源

観光交流	山地	高草山、満観峰、花沢山、虚空蔵山
	ハイキングコース	高草山ハイキングコース、日本坂ハイキングコース、満観峰ハイキングコース
	海水浴場	浜当日海水浴場
	桜の名所	木屋川堤、朝比奈川堤、小石川堤 等
	広場	ふいしゅーな（焼津漁港親水広場）
	観光交流施設	焼津さかなセンター、ディスカバリーパーク焼津天文科学館、大井川河口野鳥園、サッポロビール静岡工場・ビオトープ園、うみえ〜る焼津、深層水ミュージアム、アクアスやいづ、焼津小泉八雲記念館 等
	重要伝統的建造物群保存地区※	焼津市花沢伝統的建造物群保存地区
祭り・イベント	社寺	焼津神社、林叟院、弘徳院、那閉神社、法華寺、長徳寺、大覚寺全珠院（焼津千手大観音）
	神社・寺院等の祭礼	藤守の田遊び、水天宮祭り、焼津神社の荒祭り、子安神社の例大祭、吉永八幡宮の例祭、上小杉八幡宮の神相撲と流鏑馬、えびす講市、虚空蔵尊ダルマ市と香集寺、長徳寺の本開帳と例祭
働く人々	イベント	焼津みなとまつり、海上花火大会、夏のあかり展、焼津みなとマラソン、静浜基地航空祭、踊夏祭 ^{おどろっかさい} 、大井川港朝市、さばまつり、オータムフェスト in やいづ、桜まつり（木屋川、朝比奈川等）
	漁業・水産加工業	焼津漁港周辺、大井川港周辺、水産流通加工団地
市民活動	農業	東益津・大井川地域の水田、高草山の樹園地（茶畑・ミカン）
	NPO 法人等による活動	NPO「浜の会」による活動、「焼津市山の手未来の会」による活動
	自治会・町内会等による活動	静岡県リバーフレンドシップ※、静岡県アダプトロードプログラム※
	その他の活動	焼津市まちをきれいにする運動推進協議会、焼津市環境衛生自治推進協会

(3) 人々の活動が創る景観資源



図 3-3. 人々の活動が創る景観資源

(4) 市街地等の景観資源

(ア) 市の拠点の景観

市の拠点は、焼津市都市計画マスタープランにおいて、都市拠点に JR 焼津駅周辺、生活交流拠点に JR 西焼津駅周辺、市域中部の市街地、大井川庁舎周辺、産業・観光交流拠点に、焼津 IC 周辺や大井川焼津藤枝スマート IC 周辺、焼津漁港周辺、大井川港周辺が位置づけられている。

(a) 都市拠点

- ・都市拠点である JR 焼津駅周辺は、駅前ロータリーを中心として、高層マンションやホテル、雑居ビル、小規模店舗、戸建て住宅など、様々な規模・形態・色彩の建築物が混在している。



写真 3-27. JR 焼津駅前

(b) 生活交流拠点

- ・JR 西焼津駅周辺は、小中規模の店舗や事業所、戸建て住宅など、中低層の建物が広がり、落ち着いた雰囲気はあるものの、駅前には平面駐車場が多い。
- ・市域中部の市街地は、比較的大規模な敷地が整然と区画割りされた中に、市立総合病院や消防防災センターなどの行政施設、大型商業施設や事業所等が集積しているが、様々な形態意匠の建築物等が見られ、特に幹線道路沿道には高彩度*色の屋外広告物*が掲出されている。
- ・大井川庁舎周辺は、図書館や消防署、大井川文化会館、公民館等の公共施設が集積し、周囲に戸建て住宅や農地が広がっている。



写真 3-28. JR 西焼津駅前

(c) 産業・観光交流拠点

- ・焼津 IC 周辺は、観光客で賑わう焼津さかなセンターがあり、市の玄関口として重要な場所であるが、多様な形態の建物が建ち並んでいる。また沿道には、大規模で彩度*の高い屋外広告物*が掲出され、街路樹の緑量が少ない。
- ・大井川焼津藤枝スマート IC 周辺は、農地が広がり高い建物がない、田園景観の中にある。



写真 3-29. 大型店舗が立地する市域中部



写真 3-30. 焼津 IC 周辺

- ・焼津漁港周辺は、船溜まりや魚市場、水産関連施設等の風景が、水産都市としての産業景観を象徴しているが、多様な規模・形態・色彩の建物が混在している。
- ・焼津漁港（小川地区）は、沿岸部に商店、事業所、住宅などが見られるとともに、ドック*などが港まちなみの雰囲気を漂わせている。
- ・焼津漁港（新港地区）は、防潮堤に囲まれ、未利用地が多いが、遠洋マグロの水揚げや競り*など、漁港で働く人々の様子も見られる。また、「アクアスやいづ」や「うみえ〜る焼津」、「ふいしゅーな」などの施設が整備され、市民や観光客が憩い楽しむ景観が見られる。これらの施設の外壁は、全体的に同系色のものが多い。
- ・大井川港は、主に石油・LPG・重油の製品を扱う物流港である。港周辺には工場やタンク、物流施設の大規模な建築物が集積しているほか、大井川河口野鳥園や大井川港緑地などが見られ、さらには魚市場や桜エビ・シラスの直売所で買い物をする人々、あるいは岸壁で釣りを楽しむ人々が見られる。

（イ）住宅地

（a）市街地内住宅地

- ・中心市街地の住宅地は、概ね中低層建築物で形成されているが、近年は高層建築物が増えるとともに、建築物の外壁の色彩が多様化している。
- ・小川地域や港地域の南部など、区画整理事業により整備された地域は、整然とした住宅地が形成され、低層の戸建て住宅が広がっているが、全体的に緑量は少ない。
- ・住宅地内の未利用地は、太陽光発電施設用地として活用されている所がある。
- ・東益津地域の浜当日は、曲がりくねった細街路と密集した住宅地が特徴あるまち並みを形成し、虚空蔵山や社寺の景観と合わせて、古くからの集落*の雰囲気を感ぜさせる。



写真 3-31. 焼津漁港（小川地区）のドック*



写真 3-32. アクアスやいづ・うみえ〜る焼津



写真 3-33. 大井川港の工場景観



写真 3-34. 中心市街地の住宅地



写真 3-35. 大井川地域の既存集落*

- ・大井川地域の海岸背後にある既存集落※は、住宅が密集し道路が狭いが、路地に生垣が連なっている。

(b) 田園集落※

- ・東益津地域の高草山裾野部に形成された集落※は、山林や農地、社寺と一体となった古くからの地域の風景を残しているほか、集落※地内は生垣が施されている。一方、周辺の主要な道路沿道は、新しい住宅や施設等の多様な形状や色彩が見られる。
- ・市域中南部～南部の田園地帯は、宅地化が進み、農地、住宅、工場等が混在した景観が見られ、かつての散居村※の姿はほとんど見られない。



写真 3-36. 東益津地域の田園集落※



写真 3-37. 大井川地域の田園集落※

(ウ) 商業地

- ・主に JR 焼津駅周辺一帯の中心市街地、国道 150 号、(都) 焼津広幡線、(都) 焼津駅道原線等の沿道に商業・業務施設が集積している。
- ・JR 焼津駅周辺一帯の中心市街地は、焼津駅前通り商店街をはじめとし、昭和通り商店街や神武通り商店街など 5 つの商店街が形成され、中心市街地内に広がっている。アーケードや街灯、アーチ等、個性的で統一されたデザインが商店街の特徴あるまち並みや空間を創出している。
- ・沿道の商業施設は、大規模チェーン店の外壁や屋外広告物※に高彩度※な色彩等が使用されている。



写真 3-38. 神武通り商店街



写真 3-39. 沿道の商業地

(エ) 流通業務地

- ・東名高速道路焼津 IC 周辺は、低層の戸建住宅の落ち着いたまち並みの中に、工場や事業所の倉庫、駐車場等が介在している。



写真 3-40. 流通業務地

(オ) 工業地

- ・東益津地域や豊田地域の一部、大井川左岸や大井川港背後、流通加工団地などの一団の工業地などは、大規模な工場が多く立地している。

(カ) 道路の景観

- ・東名高速道路をはじめとして、国道 150 号等の主要幹線道路が市域に通っている。
- ・東名高速道路は、連続する巨大な構造体として、その周辺の景観に大きな影響を与えている。また、高速道路の一部の法面*が緑化され、田園の背景となっている箇所も見られる。
- ・国道 150 号をはじめとした幹線道路は、市街地において、交差点部の野立て看板や沿道建築物の屋外広告物*が掲出されている。
- ・工場の集積するエリアを通る幹線道路は、広い駐車場や資材置き場、土砂堆積場、太陽光発電施設用地、耕作放棄地等が多く見られる。
- ・田園集落*地を通る幹線道路では、視線誘導を考慮した白色ガードレール・ガードパイプ等が多く見られる。
- ・市内の一部の道路では、歩道内の自転車が走行できるスペースを視覚的に区切るため、彩度*の高い青色で舗装している。



写真 3-41. 工場の敷地内緑化



写真 3-42. 自転車走行スペース



写真 3-43. JR 東海道本線

(キ) 鉄道の景観

- ・東西方向に JR 東海道新幹線と JR 東海道本線の 2 つの鉄道が通っている。これらの鉄道からは、遠景の山並みを背景に、田園景観や市街地景観の移り変わりを楽しむことができる。
- ・JR 東海道新幹線は、盛土や高架、橋梁になっており、それらの連続する構造物が周辺の景観に影響を与えている。

(ク) 公園・緑地の景観

- ・運動公園である大井川河川敷運動公園は、各種グラウンドやマラソンコース等が整備され、豊かな自然環境のなかで、スポーツを楽しむ市民の姿が見られる。



写真 3-44. 小川公園

- ・石津浜公園や瀬戸川緑地、栃山川緑地公園・栃山川自然生態観察公園等は、豊かな自然環境を生かした公園として、市民に親しまれている。
- ・住宅地には、近隣公園や街区公園が配置され、個性的な遊具や、湧水*の池、芝生広場、花見のできる公園など、特徴ある公園が多く存在している。
- ・堀川の緑道は、河川の石積みや草木が整備されている。

(ケ) 公共施設の景観

- ・公共施設は、市役所、大井川庁舎をはじめ、市立総合病院、福祉会館など、多く数える。これらの施設の形態意匠等は、周辺景観との調和に配慮されており、緑化等も積極的行われている。

(コ) 防災施設の景観

- ・平成 23 年の東日本大震災以降、津波避難施設として津波避難タワーや高台広場が整備されており、沿岸部のまち並みの中で津波避難施設が見られる景観が生まれている。ほかにも、沿岸部には防潮堤が整備されている。

(サ) 橋梁の景観

- ・本市は中小河川が多いことから、橋梁が多数あり、水天橋など、地域の個性ある景観を形成している所も見られる。

(シ) 市街地等の眺望景観

- ・高草山の笛吹段公園から、市街地のまち並み、あるいは志太平野、駿河湾が一望でき、眺望の良さから多くの市民に親しまれている。



写真 3-45. 堀川の緑道



写真 3-46. 住宅街の津波避難タワー



写真 3-47. 防潮堤



写真 3-48. 水天橋



写真 3-49. 笛吹段公園付近から見る市街地

■主な資源

市の拠点	都市拠点	JR 焼津駅周辺
	生活交流拠点	JR 西焼津駅周辺、大井川庁舎周辺、市域中部周辺（市立総合病院や消防防災センターなどが立地する市街地）
	産業・観光交流拠点	東名高速道路焼津 IC 周辺、焼津漁港周辺、大井川港周辺、東名高速道路大井川焼津藤枝スマート IC 周辺
住宅地	市街地内住宅地（市街化区域）	・大村、豊田、焼津、小川、港地域一体に広がる用途指定のある住宅地 ・東益津地域や大井川地域の用途指定のある住宅地
	田園集落※（市街化調整区域）	・東益津地域や大富地域、和田地域、大井川地域等の用途地域が指定されていない既存集落※ ・上小杉住宅団地等の計画的に開発された住宅地
商業地	商業集積地	・JR 焼津駅周辺一帯の中心市街地（焼津駅前通り商店街、昭和通り商店街、神武通り商店街、ゴールデン街、中央通り商店街、本町浅草通り商店街、西町通り商店街） ・市域中部の市街地
	沿道商業集積地	国道 150 号、（都）志太東幹線（都）焼津広幡線、（都）焼津駅道原線、（都）鰯ヶ島八楠線、（都）焼津下小田線等の商業・業務施設が立地する沿道
流通業務地	焼津漁港、東名高速道路焼津 IC 周辺	
工業地	・東益津地域や豊田地域の一部、大井川左岸に位置する工業地、大井川港背後の工業地 ・水産加工センター、水産流通加工団地や高新田第 1・2 工業団地など、計画的に開発された一団の工業地や工業団地、中小工場が既に集団化している策牛地区周辺等	
道路	高規格幹線道路	東名高速道路
	主要幹線道路	国道 150 号、（都）志太東幹線、（都）志太中央幹線
	幹線道路	（都）志太海岸線、（都）焼津駅道原線、（都）焼津広幡線、（都）焼津青木線、（都）小川島田幹線、（都）藤枝駅吉永線
鉄道	JR 東海道本線、JR 東海道新幹線	
橋梁	富士見橋、太平橋、はばたき橋、当目大橋、入江橋、水天橋 等	

■主な資源

公園・緑地	運動公園	大井川河川敷運動公園
	総合公園	石津浜公園
	地区公園	石津西公園、大覚寺公園
	近隣公園	清見田公園、小川公園、河原富士見公園、松原公園、八楠公園、田尻北公園、中公園、石津中央公園、元焼津公園、豎小路公園
	街区公園	臨港南公園、石脇公園、高新田平公園など 103 カ所
	緑地	枋山川緑地公園、枋山川自然生態観察公園、瀬戸川緑地、浜ノ堀緑地、東小川 3 号緑地、東小川 1 号緑地
	遊歩道	黒石川遊歩道
公共施設	事務庁舎施設	本庁舎、アトレ庁舎、大井川庁舎、大井川港港湾会館、消防防災センター、水道庁舎、焼津市保健センター、大井川保健相談センター
	医療施設	市立総合病院
	福祉施設	総合福祉会館、大井川福祉センター
	スポーツ施設	焼津市総合グラウンド野球場、焼津市総合体育館、大井川体育館、焼津体育館
	文化施設	焼津市文化センター(焼津文化会館、焼津図書館、歴史民俗資料館、焼津小泉八雲記念館)、ディスカバリーパーク焼津天文科学館、大井川文化会館ミュージコ、大井川図書館
	その他	小・中・高等学校、航空自衛隊静浜基地 等
防災施設	津波避難施設（津波避難タワー、高台広場）、防潮堤	
市街地等の眺望	・ 笛吹段公園など高草山から見た志太平野と駿河湾	

(4)市街地等の景観資源



図 3-4. 市街地等の景観資源

2)本市の景観特性

本市の景観資源から、主な景観特性を次のように整理する。

(1)豊かな水とみどりの景観が身近に広がる

本市は、ほぼ起伏がない平坦な地形が広がり、唯一北部に高草山や満観峰等の山地が位置し、これらが豊かなまとまりある緑地景観を形成するとともに、市域のランドマーク※としての役割を果たしている。

また、海岸線に沿って松林が連なり、防潮、砂防の役割に加え、景観的にも貴重な緑地帯としての役割を担い、海岸線と合せて、本市の緑と水の骨格的な景観として位置付けられる。

市域の東側は広い範囲で駿河湾に面しており、市の中心部である JR 焼津駅からもわずか 500m 程で焼津漁港に到達できるほど、近い位置に海を感じることができる。海岸部には、焼津漁港や大井川港が整備されているとともに、海水浴場である浜当目海岸、自然地形の景勝地でもある大崩海岸、あるいは芝が広がる石津海岸公園等、多様な海の風景を見ることができる。

市域の南端には、南アルプスを水源とする大井川が流れ、雄大な河川景観を形成している。また、大井川の水は市内の多くの河川や水路に引き込まれ、あるいは湧水※などとなって市域に潤いを与えている。内陸部においては、本市の西から駿河湾に向かって瀬戸川や栃山川等の中小河川が多く流れており、その水量も比較的多く、まち並み景観の中に水の流れが貴重な景観要素として構成されている。郊外においては、小規模な水路も農地に沿って張り巡らされ、湧水※地も多く残されていることから、市域全体において水が豊かな印象を受け、水の豊かさが重要な景観特性である。

(2)駿河湾越しの富士山や伊豆半島、高草山、志太平野などの美しい眺望景観が見られる

本市は、平坦な地形が広がっている上、駿河湾に面していることから、富士山や駿河湾をはじめとした、優れた眺望景観を見ることができる視点場が各所にある。

海岸部からは駿河湾越しの富士山や伊豆半島の眺望、焼津漁港からは漁船や虚空蔵山、高草山等と一体となった富士山の眺望を見ることができ、駿河湾に面する本市の特徴的な眺望景観となっている。また、大井川地域の田園集落※、大井川や瀬戸川等に架かる橋梁及び河川堤防上等、開放的な場所からは、高草山等の山並みや富士山等の眺望景観を望むことができる。

また、高草山等から一望できる志太平野のまち並みや駿河湾の眺望景観も、本市の重要な景観特性である。

(3) 焼津の歴史と文化を伝える景観が残されている

旧焼津市においては、江戸時代から港を利用した廻船業*の発達に端を発し、昭和に入り焼津港内港が完成すると国内最大級の遠洋漁業基地として全国に知られるようになり、あわせて周辺には、水産関連や造船等の工場や商店が立地し、現在においても港まちとしての特徴的なまち並み風景が残されている。また、水揚げの様子や競り*等の様子、あるいは焼津神社の荒祭り等は、焼津らしい文化を映す景観といえるものである。

また、大井川扇状地に形成された散居村*の構造や舟形屋敷*もその痕跡は今日までに残されているとともに、鎮守の杜のような屋敷林*を構えた集落*景観や沿岸部の生垣が連続する集落*景観は、本市の特徴的な景観である。

その他、奈良時代の旧東海道といわれる街道沿いに位置する、県内唯一の重要伝統的建造物群保存地区*である花沢地区、大井川の治水と一年の豊作祈願が起源と伝えられる藤守の田遊び、さらには市域の各所で見られる寺社仏閣や古木等、本市の歴史文化に関わる景観資源が今日まで継承され、本市固有の景観を形成している。

(4) 人々の活動により活気ある景観が見られる

本市では、焼津漁港や大井川港において、水産物の水揚げや競り*など、港で働く人々の姿を見ることができる。また、焼津漁港では、漁船が行き交う様子やドック*で働く人々の姿なども含め、漁業の町を象徴する素朴な景観が見られるほか、夜間に漁船のあかりが水面に映り、港の独特の雰囲気をつくり出している。さらに、漁港周辺の事業所や水産流通加工団地などでは、水産加工業に従事する人々の姿を見ることができる。

観光交流においては、焼津さかなセンター等に多くの観光客が訪れ、焼津らしい活気のある景観が見られるとともに、焼津漁港内のアクアスやいづやふいしゅーな等においても市民の憩いや観光交流の景観が見られる。また、ハイキングや海水浴、市内各地の桜鑑賞などに市内外から多くの人が訪れ、季節ごとの自然を生かしたレクリエーションを楽しむ人々の姿を見ることができる。

また、焼津みなとまつりや踊夏祭、浜通りの夏のあかり展などでは、市内外から多くの人々が訪れ、にぎわいのある景観を生み出すとともに、夏には、市民が魚河岸シャツ*を着る風習があり、焼津ならではの景観となっている。

また、本市では、NPO 法人をはじめ、自治会・町内会、市民団体、学校関係団体、事業所などによる美化活動などが行われており、本市の景観向上に寄与している。

(5) 志太平野上に多様なまち並み風景が広がる

本市は、市の成り立ちから、焼津漁港と JR 焼津駅周辺を中心とし、東名高速道路焼津 IC 周辺、JR西焼津駅周辺、市立総合病院周辺、大井川庁舎周辺等に拠点が形成されており、特に、本市の玄関口となる鉄道駅や高速道路のインターチェンジ周辺では、多くの来訪客が訪れ、人々が集い交流する、にぎわいのある景観が見ることができる。

また、JR 焼津駅を中心として市の中央部と大井川地域の沿岸部、大井川港周辺や大井川沿いの一部に用途地域が指定され、市街地が形成されている。しかし、本市の平坦な地形上、土地利用規制が緩やかな頃から、計画的ではない土地利用が進行したために、土地利用の混在が景観にも影響を与えている。

特に、平坦な地形に加え、地下水が豊富なこと、本市が交通の要衝として機能していることから、古くから工場立地が進行し、大井川港や大井川沿い等に比較的大規模な工場が集積するとともに、市内各所にも工場が散在している様子が見られる。

東名高速道路や国道 150 号などの道路軸は、概ね市域を南北に通じ、沿道の景観は市街地景観から田園集落*景観へと移り変わる。また、港地域や小川地域の土地区画整理事業や国道 150 号新設整備等により、市街地の主要道路構造が大きく変化するとともに、まち並み景観も変化している。